

ドロップデタッチャの施工手順

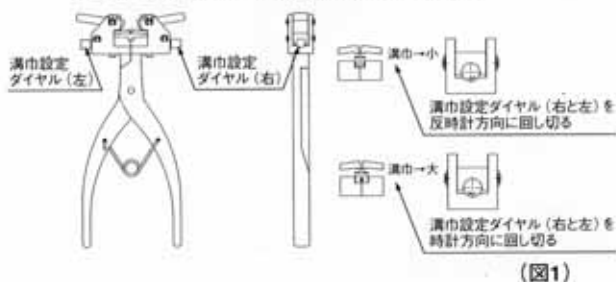
1. 準備

- (1) ドロップ光ファイバ種類と、適用するデタッチャの溝巾と、ケーブルクランプレバー位置の条件を表-1で確認します。

ドロップ光ケーブル			デタッチャ設定	
種類	巾	厚さ	溝巾設定ダイヤル	ケーブルクランプレバー位置
1心架空ドロップ光ファイバ	小	小	反時計方向回し切り	L
2心架空ドロップ光ファイバ	小	小	反時計方向回し切り	L
4心ドロップ光ファイバケーブル	大	小	時計方向回し切り	L
8心ドロップ光ファイバケーブル	大	小	時計方向回し切り	L
4心インドア光ファイバケーブル(テープ)	大	小	時計方向回し切り	L
8心インドア光ファイバケーブル(テープ)	大	大	時計方向回し切り	H
8心インドア光ファイバケーブル(単心線)	大	大	時計方向回し切り	H

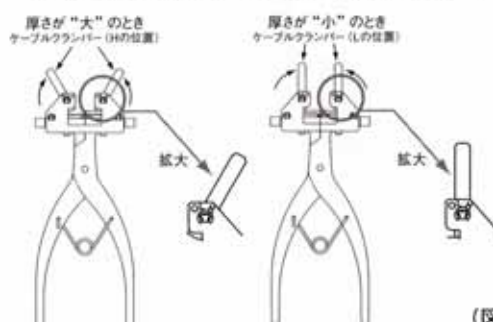
表-1

- (2) ドロップ光ファイバの巾寸法の大小に対応して、あらかじめ溝巾を設定します。(図1)



(図1)

- (3) ドロップ光ファイバの厚さの大小に対応する、ケーブルクランプレバーの位置を確認します。(図2)



(図2)

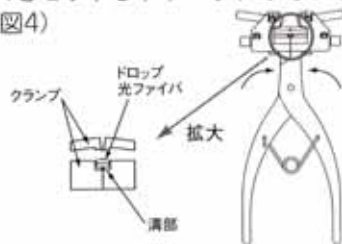
2. 実施

- (1) ドロップデタッチャのグリップを握りケーブルクランプ部を広げます。(図3)



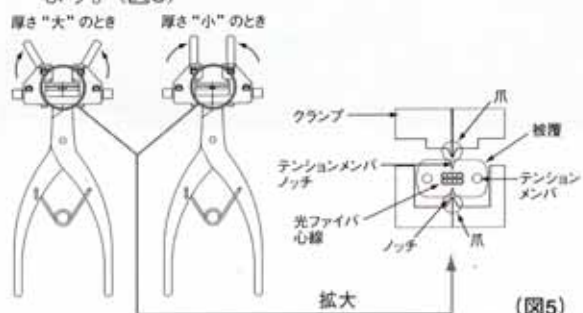
(図3)

- (2) ドロップデタッチャの溝部に、ドロップ光ファイバをセットし、ケーブルクランプ部を閉じます。(図4)



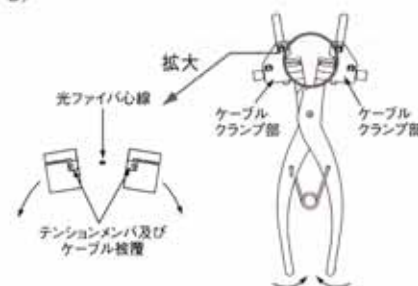
(図4)

- (3) ドロップデタッチャの左右のケーブルクランプレバーを押し上げて、ドロップ光ファイバのノッチを中心に、ドロップ光ファイバの被覆にドロップデタッチャの爪を固定します。このとき、ケーブルクランプレバーの位置はドロップ光ファイバの厚さの大小に対応する位置にします。(図5)



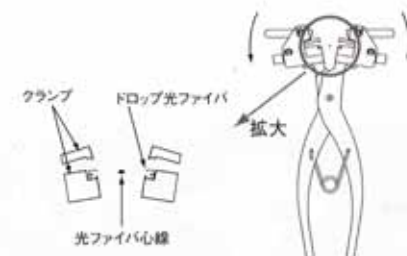
(図5)

- (4) ドロップデタッチャのグリップを握り、ケーブルクランプ部を広げて、左右のテンションメンバ部を分離して光ファイバ心線を剥ぎ出します。(図6)



(図6)

- (5) ドロップデタッチャのケーブルクランプ部を広げたまま、左右のケーブルクランプレバーを倒してドロップ光ファイバ(テンションメンバ及びケーブル被覆)を開放します。(図7)



(図7)

- (6) ドロップ光ファイバの長手方向のどちらかに、ドロップデタッチャの1ヘッド分(1~2cm程度)ずらして、(1)から(5)の手順を行います。(テンションメンバを分離した部分に指を入れるスペースを拡大して、テンションメンバ部を引き裂き易くし、光ファイバ心線を安全に取り出すために行います。)